

「情報処理学会会員の力を社会につなげる研究グループ」のご紹介 <http://www.ipsj.or.jp/sig/ssr/>

2014年10月09日

「情報処理学会会員の力を社会につなげる研究グループ」は、2011年12月27日に情報処理学会 Web サイトに公開された『情報処理学会教育ビジョン 2011』に記載されている、「教育に携わる諸部門とのさまざまな形での協働の推進に努めます」を実践する場として、2012年2月に立ち上げられました。具体的には、「小中高の情報の授業に際して助言や補助を必要とする先生をお手伝いしたいと思ったことはありませんか？」などのニーズに応えられる環境や仕組みの試行を通して、協働の場を整備していくこと、問題解決のための協働の場を企画して実践するという、イベント企画型の研究グループです。

2014年度の活動

- 東大での『一般情報教育』を体験しよう(第3回)
日時：2014年08月04日(月)～06日(水)
場所：東京大学駒場キャンパス情報教育棟
- 情報科教員を目指す学生さんに向けてのガイダンス会
日時：2014年10月05日(日)
場所：千葉県立柏の葉高等学校



東大での『一般情報教育』を体験しようという企画は、高校の先生から「大学でのしっかりした情報の授業を聴きたい」という声を実現したものです。2014年は、「情報科の教員対象を対象とした教員免許更新講習を検討して欲しい」という声が上がったことから、教員免許更新講習と東大での『一般情報教育』を体験しようを一体化させ、新たな取組みとして実施しました。2014年は、延べ人数73名の参加となりました。

高校の先生と大学の先生のコミュニティを活用して、複数大学間にまたがって、情報科の先生になりたい学生さんを応援しようという思いを形にしたものが、情報科教員を目指す学生さんに向けてのガイダンス会です。2014年は、東京情報大学、電気通信大学、青山学院大学の学生5名を含む、19名が参加しました。また、多くの方に参加して頂くために、今年から10月の第1日曜日に開催することになりました。



いろいろな方が、本研究グループの活動に参画することによって輪が広がり、課題解決の協働の場が形となって動き始めると考えています。「情報処理学会会員の力を社会につなげる研究グループ」では、今後も、研究グループの活動に関する意見交換会の中から、様々な声を拾い上げながら、課題をひとつずつ解決していくことで、「教育に携わる諸部門とのさまざまな形での協働の推進に努めます」を実践していく予定です。